

会 議 録

会議の名称	第4回津山地域開校準備委員会		
開催日時	令和4年1月18日(火)		
	午後7時00分 開会		
	午後8時05分 閉会		
開催場所	津山老人福祉センター 2階集会室		
委員出席者	大山 豪	委員	柳津小学校PTA会長
	高橋 涉	委員長	津山中学校PTA会長
	林 三治	委員	柳津小学校学校運営協議会委員
	堀田 耕平	委員	横山小学校学校運営協議会長
	今野 政雄	委員	津山中学校学校運営協議会長
	阿部 篤雄	副委員長	津山町行政区長会長
	阿部 宗幸	委員	つやま杉の子こども園保護者会長
	鹿野 征美	委員	柳津小学校長
	伊藤 秀樹	委員	横山小学校長
	千坂 佳織	委員	津山中学校長
事務局出席者	白岩 登世司		学校再編推進室長
	千葉 道宏		学校再編推進室長補佐兼学校再編推進係長
	西條 文武		学校再編推進室主査
	佐藤 春香		学校再編推進室主事
欠席者	遠藤 貴	委員	横山小学校PTA会長
傍聴者	0人		
議事	(1) 統合小学校の校名(案)について (2) 統合小学校の学校づくりに関する意見集約結果について (3) 統合小学校の校章・校歌等の選定に関する今後のスケジュールについて (4) 専門部会等の報告事項について		
議事	事務局	開会 午後7時00分	
	事務局	第4回津山地域開校準備委員会を開会する。 議事に入る。議長は、委員長にお願いする。	
	委員長	はじめに、本日の会議の会議録署名委員を指名する。 会議録署名委員は、阿部宗幸委員と鹿野征美委員にお願いする。 議事1は「統合小学校の校名(案)について」である。 前回の会議では、募集結果に対する各団体の意見集約をお願いしていた。各委員から、その集約結果の報告などをお願いする。 津山中学校から報告する。津山中学校では、PTA会員、教職員の意見を集約し、集約結果をもとに学校運営協議会にも報告した。 校名(案)の募集結果については、「津山小学校で良い。」、「中学校も津山中学校なので、その方が覚えやすいし馴染みやすい。」、「地域の名称はあった方が良いと思う。」、「津山地域唯一の小学校で、他の津山と付く小学校と区別をするためにという応募理由を見ると、「つやま」が良いと思う。」、「漢字の津山が地域の学校として親しまれていると思う。」、「ひらがなのほうが親しみやすい。」という意見があった。「津山」という言葉としては一つだが、書き方で漢字とひらがな両方の意見があった。	
	委員	柳津小学校では、漢字で「津山小学校」という意見が一番多かった。	

委員	横山小学校では、「何々津山」やひらがなの「つやま」などの意見もあったが、地域の名前を残すということで、漢字で「津山小学校」が良いという意見が一番多かった。
委員	こども園では、第1が漢字で「津山」、第2がひらがなで「つやま」という意見であった。理由としては、「津山という名前を残す。」、「中学校も津山なので一緒にした方が良い。」、「ひらがなは柔らかい感じがして、小さい子どもでも書きやすいから。」という意見があった。
委員	行政区長会では、このことで、各区長を集めることができなかつたため、津山地域の全区長に募集結果を送付したところ、募集結果で地域に馴染んだ名前である「津山」が一番多かったことから、それで良いという意見があった。
委員	柳津と横山で津山になっているということでも、「津山」で良いと思う。
委員	募集結果では「津山」が過半数を超えており、応募理由でも、「この地区唯一の小学校として地名を受け継いだ校名になってほしい。」という意見があったので、「津山」で良いと思う。
委員	中学校の方でも、PTAと教職員が色々と相談した結果、「津山という名前を残したい。」、「地元を一つにするということで、地元の名前が良い。」という意見になっているので、「津山小学校」で良いと思う。
委員長	各委員の意見から、統合校の校名としては「津山」という言葉で、書き方については、応募結果では漢字が一番多く、また、中学校やこども園などの意見の中にはひらがなという意見もあった。言葉としては「津山」、書き方については漢字とひらがなの2つの案と考えるが、決定方法について意見はあるか。
委員	参考として、「津山小学校」とした場合、同じ名称の学校が他にあるかということ調べたところ、山形県天童市には天童市立津山小学校があり、「津山小学校」という名称は、その一つだけであった。柳津小学校と横山小学校についても、柳津小学校は岐阜県岐阜市に、横山小学校は神奈川県相模原市にある。同じ名称の学校は他にもあるが、「津山小学校」が一番自然で、津山の土地に合った名称ではないかと思う。
委員長	決定方法について意見がなければ、言葉としては「津山」で、書き方を漢字とするか、ひらがなにするかについて、前回の会議で決定したとおり、私を含めた全出席委員の採決により決定してすることとしてよろしいか。
委員	(異議なし。)
委員長	採決は挙手で行う。 漢字の「津山」が良いという方は挙手願う。

委員	(全委員が挙手。)
委員長	<p>全委員が漢字の「津山」に挙手したので、校名(案)は「津山小学校」に決定する。</p> <p>事務局から、今後の流れについて説明を求める。</p>
事務局	<p>本日、決定いただいた校名(案)の「津山小学校」は、今後、教育委員会会議での決定を経て、条例改正案として議会に提案し、議決されて最終決定となり、その時点で統合も確定となる。それまでの間は、(仮称)として進めることになる。</p> <p>なお、確認だが、意見の中にもあったが、校名(案)を「津山小学校」とする主な理由としては、「地域の名前を残す。」ということによろしいか。</p>
委員	(異議なし。)
委員長	<p>次は、議事2の「統合小学校の学校づくりに関する意見集約結果について」である。統合校のコンセプト、どんな学校にしたいかという点についても、各委員には意見集約をお願いしていた。各委員から、意見集約の結果を含め、意見をお願いする。</p> <p>津山中学校から報告する。統合小学校の学校づくりで、「どのような学校にしたいか」については、「せまい町内で、二つの地域の子どもたちが集まるため、合併後にトラブル等が発生することもあるかもしれないが、子どもたちが心身ともに健康で、笑って登校できる学校を目指してほしい。そのためにも、学校、保護者、地域の方々の連携を密にし、共通認識を持つことが大事だと考える。」「活気ある学校をつくってほしい。」「分け隔てなく明るく元気な学校になれば良いと思う。」「のびのびと優しい子どもが育つ学校にしてほしい。」という意見があった。</p>
委員	<p>柳津小学校では、「統合する小学校では、どのような子どもたちに育ててほしいと思いますか」については、「明るく元気にのびのびと思いやりのある子ども」、「みんなと協力しながら成長していける子ども」、「友達と自然を大切にできる子ども」、「津山町を誇りに思う子どもたち」、「横山、柳津と住んでいる地域は関係なく、統合して、同じ小学校の児童として切磋琢磨してほしい。」という意見があった。</p> <p>「統合する小学校で取り組んでほしい活動等」については、「体力づくりの活動」、「地域や自然を取り入れた学習活動」、「スポーツを取り入れた学習活動やボランティア活動」、「打ち囃子や獅子舞などの伝統芸能は続けてほしい」という意見があった。</p> <p>「統合小学校に望むこと、重視してほしい教育」については、「地域を大切にしながら、地域以外への広い視野を持てるような教育を希望する。」「他校との交流、幅広い人材との交流」、「人の大切さ、教育を受ける大切さ、食べ物がある大切さなど、普通に感じることができていることへの大切さを子どもたちに学んでほしい。」「伝統文化の継承は、それぞれの地域の子どもたちが、これまで同様に行ってほしいと思う。」「学力の向上」、「豊かな自然を活かしながらの教育」、「ネットでの授業や向き合ったコミュニケーションの必要性」などの意見があった。</p>

委員	<p>横山小学校では、「どのような子どもたちに育ててほしいか」については、「仲間意識を持って、差別偏見なく、新しい友達をつくってほしい」、「尊重し合ってほしい。」などの「思いやり」について書かれている意見が多数あった。</p> <p>「統合する小学校で取り組んでほしい活動」については、「横山、柳津でのそれぞれの伝統芸能について継承してほしい。」という意見が多いようで、その他にも地域の産業や文化、歴史なども含まれていると思う。</p> <p>「統合小学校に望むこと」については、「思いやりのある子どもに育ててほしい。」、「地域の学習の活動」、「運動能力の底上げ」、「安心安全な学校生活」という意見があった。</p>
委員	<p>こども園では、「どのような学校にしたいか」について、アンケートを行った。</p> <p>学校教育面については、「一人一人の学力や運動面での向上に力を入れてほしい。」、「それぞれの良いところを残しつつ、新入生、在校生が戸惑うことがないようにしてほしい。」、「統合しても両校の歴史を忘れないようにしてほしい。」、「将来の一人一人の自信につながるように、スポーツ、美術、音楽、プログラミング、国際交流など特色のある教育を何か一つでも入れてほしい。」という意見があった。</p> <p>通学については、「スクールバスを利用する子どもが増えるという点で、交通マナーを知らないまま育つ子どもも増えるのではないか。」、「学校までではなく、総合支所などで乗降させ、一定の距離を歩かせて、経験を積ませたら良いのではないか。」という意見があった。</p> <p>生活環境・学校設備については、「木のまち津山を活かした学校の雰囲気を目指してほしい。」、「災害事故事件等への対策、安心安全な環境をつくってほしい。」という意見があった。</p> <p>その他、「学童の充実、学童が山の上では冬の送迎も危なく大変である。」、「子ども会の規模、活動なども見直してほしい。」という意見もあった。</p>
委員	<p>行政区長会としては、各委員が話された内容で良いと思う。今も継続されているかわからないが、横山小学校にはみどりの少年団、柳津小学校にはふるさと農業少年団というものがあった。校名（案）の応募理由にも、北上川、横山のウグイなどの津山の自然環境がとても良いというもの、津山杉が全国的に有名だというものが多くあった。津山では、横山小学校のみどりの少年団では植林や植樹、柳津小学校のふるさと農業少年団では学校近くに農地を借り、色々な野菜等の収穫を通して、自然を愛する子どもを育てようとしていたと思う。できるだけ、そのように自然を愛する、自然を理解する、津山の良さを理解できるように教育を進めてもらえれば、子どもたちが将来社会に出て、自分の故郷への思いを忘れないように育っていくのではないかと思う。また、最近のニュースを見ると、人の命を大切に子どもに育ててほしいと思う。</p>
委員	<p>農業や森林のことは、非常に良いことだと思うので、そのようなことをきちんとやってほしいと思う。横山地区がバス通学になると、歩く子どもがいなくなり、体力的な心配も出てくると思う。学校では乗降せず、途中から歩く方法はあると思うが、交通安全の面では難しいと思う。体力づく</p>

	<p>りの基本的な考えで、元気な子どもを育てたいということもあると思う。</p>
委員	<p>柳津小学校と横山小学校の教育目標等を見ると、共通している部分があると思う。</p> <p>両校の学校教育の目標を合わせれば、「心身ともに健康で、心豊かでたくましく生きる子どもの育成」というかたちになり、目指す子ども像については、「進んで学ぶ子ども」、「自主性を育成する」ということになると思う。また、「思いやりのある子ども」ということで、最近の事件等を見ていると、お互いを思いやり、尊重し合う子どもに育ててほしいと思う。</p> <p>目指す学校像については、「子どもたちが生き生きと学ぶ学校」、「あいさつや笑顔あふれる学校」になってほしいと思う。また、中学校にあるような家庭と地域の連携協力のように、家庭、学校、地域が三位一体となって、取り組んでもらい、地域に信頼され、愛されるような学校を目指してほしい。</p>
委員	<p>津山太鼓や獅子舞など、一つの伝統を残せるようなかたちをつくってほしい。また、子どもたちが、のびのびとそういったことができる環境をつくれるような学校になってほしい。</p>
委員長	<p>各委員からの意見としては、安心して通える学校で、地域の伝統や歴史を勉強しつつ、自然の中で元気に育てるような学校が良いというような意見であったと思うが、意見が多いため、この場でまとめるのは難しいので、事務局で次回の会議までにまとめることとする。</p> <p>次は、議事3の「統合小学校の校章・校歌等の選定に関する今後のスケジュールについて」である。</p> <p>事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>(資料に基づき説明。)</p>
委員長	<p>校章の選定方法について、事務局の説明どおり、公募と識者への依頼の2つのパターンを軸に、次回決定したいと思うが、この他の選定方法が良いという意見はあるか。</p>
委員	<p>第1回会議で配布された柳津小学校、横山小学校、津山中学校の校章と校歌の参考資料を見て、改めて、校章に対する思いが分かった。確認だが、校歌については、作詞者と作曲者がわかるのだが、参考までに校章は誰がどのようなかたちで作成したかわからないか。</p>
事務局	<p>津山中学校と横山小学校については、教員が作成したが、柳津小学校は把握していない。</p>
委員	<p>横山小学校も津山中学校も教員が作成したということはわかった。校章については、知識がある人でないと難しいのではないかと思う。柳津小学校と横山小学校のそれぞれの校章の意味を合わせると良いものができるように思う。</p>
委員	<p>公募する時間はあるのか。</p>

事務局	校章の公募については、1か月程度の募集期間を想定している。
委員長	資料のCパターン、独自で作成する組織をつくって進めることは、時間的に難しいということか。
事務局	これから、どういう組織にするか検討するようになるため難しいと考える。
委員長	校章の選定方法については、公募か依頼を軸としていきたいが、公募では大変なのではないかという意見も出た。次回、選定方法を決定するかたちでよいか。
委員	各校の先生方の中でも作成できる方がいないか、次回までに確認してもらうかたちもとれるのではないか。
事務局	津山地域では、そのようなデザインなどができる方の情報はなにか。
委員	彫刻などをしている方と絵画を描いている方はいる。
委員	津山中学校の校章も、実は公募で、作成者の教員も応募して選ばれたという話である。言葉やフレーズなど、これを入れてほしいということも、ある程度絞ったほうが良いと思う。
委員	各団体の意見にあった、こういう学校にしたいという思いは、校章や校歌の中に出てくるので、どういう学校にしたいか、どういう子どもたちを育てたいかということは、大切なポイントである。
委員	横山中学校の校章は、桑の葉をかたどっていた。当時は養蚕が盛んで、そういう校章になったといういわれがある。その地域の特色が出るようなかたちであれば良いと思う。
委員	本日、各委員から出た意見の中にあつた「自然を愛する」や「地域」、「のびのび」、「明るく元気」などは、ある程度イメージできそうである。
委員	そういった言葉についても、校歌に盛り込んでいければ良いと思う。
委員長	校歌については、事務局の説明どおり、何もなしのところからつくることは大変なため、「言葉」や「フレーズ」を公募するようにして、校章と校歌の選定案に合わせて、募集要領の案を事務局に用意してもらうことでよいか。
委員	(異議なし。)
委員長	次回の会議で校章の選定方法と校歌に入れたい言葉やフレーズの募集方法を決定したい。 次は、議事4の「専門部会等の報告事項について」である。

	事務局から、報告はあるか。
事務局	前回の会議で、専門部会の設置を承認していただき、今月12日に両小学校に部会員の指名等を依頼し、現在は部会の組織づくりを進めてもらっている。
委員長	その他、事務局は何かあるか。
事務局	次回の会議日程について、決定いただきたい。開催日は、2月15日火曜日の午後7時からどうか。
委員長	今回は、2月15日火曜日の午後7時からで良いか。
委員	(異議なし。)
委員	こども園保護者会からお願いがある。こども園の役員には、今年度卒園し、今度、小学校に入学する子どもを持つ保護者が多く、学用品について、両校共通で使えるものの案内をいただいているが、運動着については、今度の1年生は、1年で切替えとなり、また買わなくてはならないのか、それとも猶予期間があるのかという部分を早めに示してほしいということである。これから専門部会で決まることだが、できれば早めに伝えてもらいたい。
委員	先日、柳津小学校と横山小学校で、統合を踏まえ、入学準備品について、揃えられるものについては揃えていくという方向で打合せをした。運動着については、来年1年間それぞれの学校の運動着で、再来年は別なものになるが、上級生もすぐに新しいものは買えないと思うので、統合前のものが小さくなったり、壊れたりしてから替えるようになると思う。
委員	これまでも学校では、編入してきた子どもは、前の学校のものを着て、買い替えるときに新しい学校のものを買っていたので、運動着が変わるからといって、必ずそれにするというのではなく、6年かけて変わっていくと思う。
委員	子どもの成長スピードが違い、買う子と買わない子が出てくるのが心配されている。
委員	数年間は、柳津小学校、横山小学校、統合小学校の3種類の運動着が混在することになると思う。
委員長	切り替えのタイミングでの準備品についての心配はないということで良いか。
委員	両小学校で、連絡を取り合って準備を進めている。
委員長	専門部会で決まった内容は、その都度報告してもらおうので、それでも確認していただきたい。

		議事は以上となる。事務局に、進行を戻す。
	事務局	以上で、第4回津山地域開校準備委員会を閉会する。
	事務局	閉会 午後8時05分